

オホーツク圏 経済情勢報告

令和6年4月



目 次

概況	2
1. 個人消費	3
2. 観光	4
3. 雇用	5
4. 公共事業	6
5. 住宅着工	6
6. 企業倒産	6
7. 金融	7

○利用上の注意

- 1 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合があります。
- 2 本指標は、管内分の数値等を算出するため、公表数値等を当所が独自に集計及び調整したものであり、公表元の数値と必ずしも一致しない部分があります。また、公表数値が不定期に改訂されることもあります。

○符号の用法は次の通りです。

「0」～単位未満 「-」～該当数値なし 「R」～改訂値 「▲」～マイナス 「P」～速報値

オホーツク圏経済情勢報告（令和6年4月判断）概況

	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しつつある 【判断の据え置きは、令和5年7月判断以降、4期連続】	⇒	個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、持ち直しつつある。 観光は、緩やかに持ち直している。 また、雇用は、緩やかに持ち直しつつある。

	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある	物価上昇などの影響がみられるものの、持ち直しつつある	⇒
観光	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒
雇用	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	⇒

公共事業	前年を下回る	前年を下回る	⇒
住宅着工	前年を下回る	前年を下回る	⇒

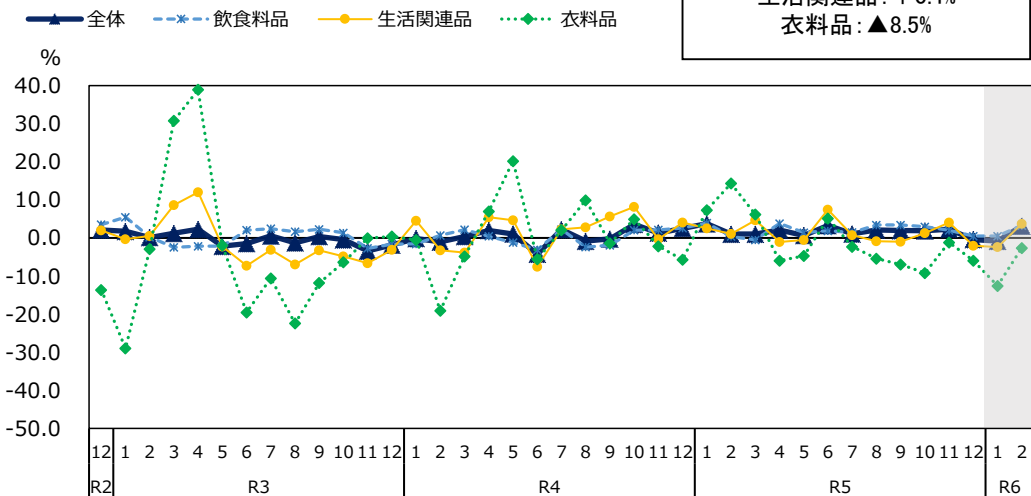
先行き	先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。		
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------	--	--

（注）6年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

1. 個人消費 ～物価上昇などの影響がみられるものの、持ち直しつつある～

主要小売店販売額(前年比)の推移

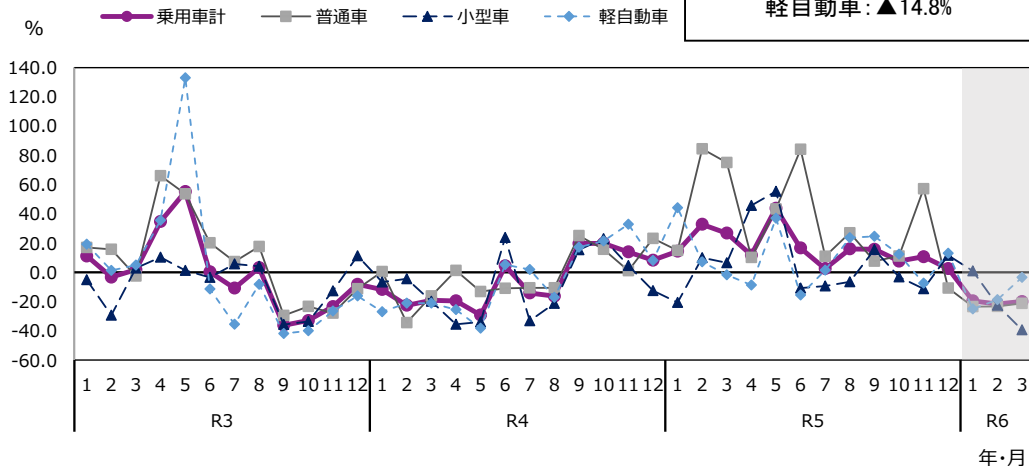
【1月-2月(前年同期比)】
 全体: +1.0%
 飲食料品: +1.8%
 生活関連品: +0.4%
 衣料品: ▲8.5%



(注)主要小売店販売額は、令和5年1月判断より集計対象小売店が変更となったことから令和4年1月以降の数字全体を再計算している。
 資料:管内主要小売店

乗用車新車登録台数(前年比)の推移

【1月-3月(前年同期比)】
 乗用車計: ▲20.3%
 普通車: ▲22.4%
 小型車: ▲24.5%
 軽自動車: ▲14.8%



資料:(社)日本自動車販売協会連合会北見支部

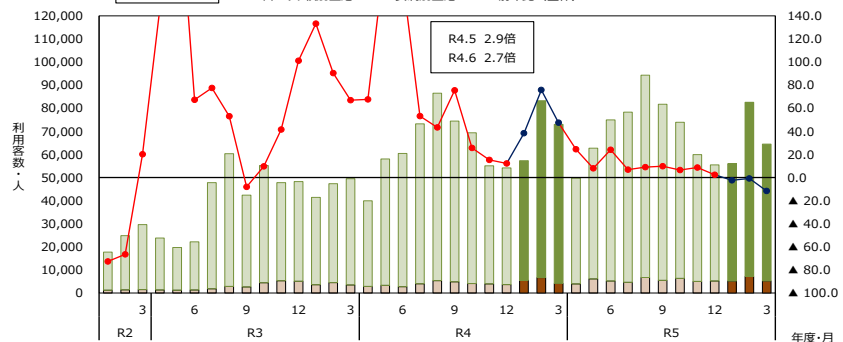
- 飲食料品は、総菜・冷凍食品が引き続き堅調に推移しているほか、商品単価の上昇もあり前年を上回っている。
- 生活関連品は、化粧品の動きが良かったほか、防災用品の需要の高まりにより前年を上回っている。
- 衣料品は、紳士服・婦人服いずれも普段着の動きが鈍かったことから前年を下回っている。
- 引き続き、物価上昇を背景とした家計の節約志向の高まりがみられる。
- 新車登録台数は、一部メーカーの生産・出荷停止の影響などにより前年を下回っている。
- このように、個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、持ち直しつつある。

【企業・関係団体からの生の声】

- 総菜は引き続き堅調に推移しており、売上は安定している。(大型小売店)
- 卒業式・入学式が制限なく開催されるようになったことから、婦人用のフォーマルウェアは好調であったが、一方で、特に紳士服の動きが鈍かった。(大型小売店)
- カウンセリング化粧品は顧客が自分のものに加え、新生活に向けて子や孫の化粧品を一式購入するなどの動きがみられた。(大型小売店)
- 今後、電気・ガス料金が增加すると、さらに節約志向が高まることが予想される。一方で、季節イベントには従前と変わらずお金をかけていると感じる。(大型小売店)
- 年始の数日間是好調であったが、それ以降は、売上が伸び悩んだ。また、大雪の影響で客足が遠のく日もあった。(大型小売店)
- メーカーの認証不正による影響が想像以上に大きい。売れ筋の車種が生産・出荷停止の対象となったことが影響拡大の要因であると考えている。
(自動車関連団体)
- 半導体不足による納期遅れは改善しており、登録台数は前年を上回っている。
(乗用車販売店)
- 歓送迎会が例年通り開催された。特に週末は予約を断ることが多かった。
(飲食サービス業)

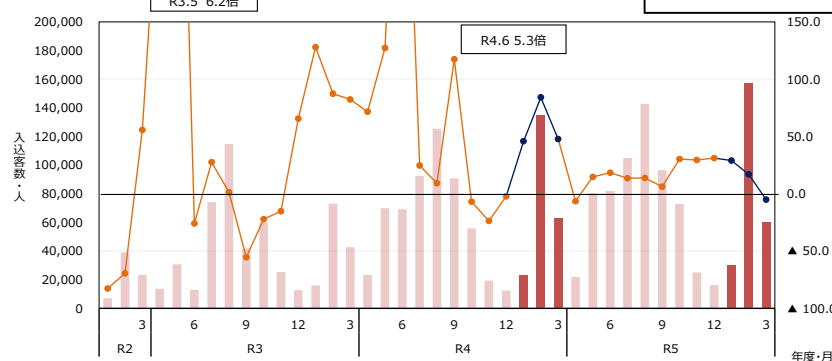
2. 観光 ～緩やかに持ち直している～

空港利用客数の推移



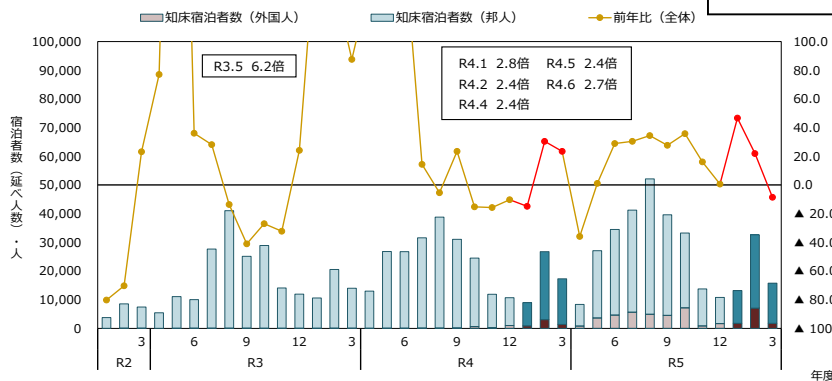
資料:北海道エアポート(株)女満別空港事業所、オホーツク紋別空港管理事務所

主要観光施設入込客数の推移



資料:網走市観光協会、オホーツク管内各観光施設

知床宿泊者数の推移



資料:知床斜里町観光協会

- 空港利用客数は、引き続き各路線に持ち直しの動きがみられたものの、前年を下回った。
- 主要観光施設入込客数及び知床宿泊者数は、行動制限緩和の効果などにより観光客の動きが良かったほか、引き続き外国人観光客の入込も好調だったことなどにより、前年を上回っている。
- このように、観光は、緩やかに持ち直している。

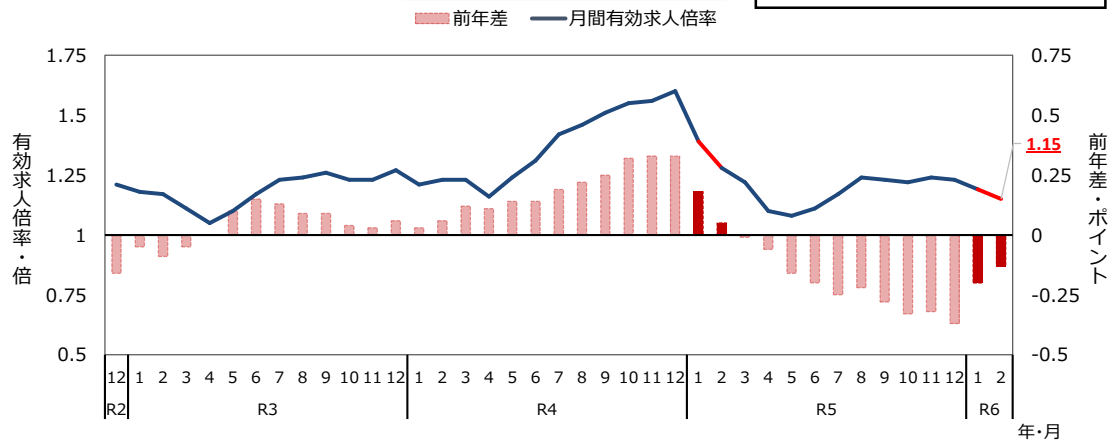
【企業・関係団体からの生の声】

- 国内客は個人客が増加した。飛行機の提供座席数の減少やバスの運転手不足などで団体客は減少している。(知床地区 宿泊施設)
- 当地区を訪れた人によるSNSの発信効果もあり、若い世代の観光客が増加している。また、円安の影響で海外旅行ではなく、新しい旅先として当地区を訪れる人が増加した。(観光協会)
- コロナの5類移行や円安の影響に加え、今年は流氷の当たり年であったことから、前年と比較して国内外問わず観光客が増加した。(知床地区 観光施設)
- 流氷観光船の乗船者は観光客増加のほか、前年より長期間流氷がみられたことで、1月、2月いずれも前年を上回っており、順調に回復してきている。(観光協会)
- 流氷観光船の乗船者の5割～6割が外国人観光客であり、特に台湾・タイ・シンガポール・インドネシアからの乗船が多い。(紋別地区 観光施設)
- 外国人観光客は台湾・香港・シンガポールを中心にコロナ禍前の水準まで回復している。(知床地区 宿泊施設)
- 「知床国立公園60周年、世界遺産20周年記念事業」として、4月から2年間道内各地で関連イベントを開催する予定であり、知床を知ってもらう機会となることを期待している。(観光協会)

3. 雇用 ～緩やかに持ち直しつつある～

有効求人倍率（常用）の推移

【1月-2月】
月間有効求人倍率：1.16倍
前年同期差：▲0.17ポイント



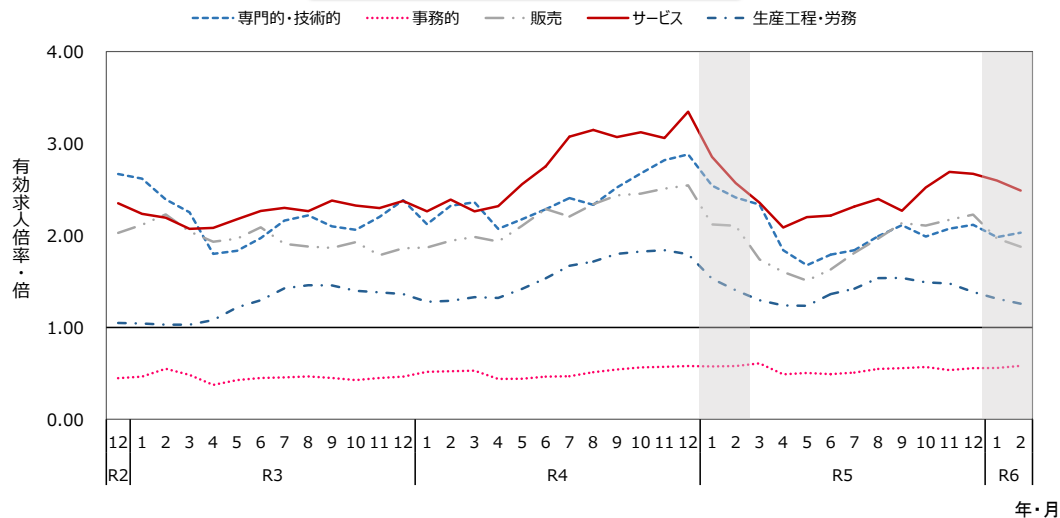
資料：北見、網走、紋別公共職業安定所

○ 有効求人倍率は、有効求人数が減少していることなどから、前年を下回っているものの、緩やかに持ち直しつつある。

【企業・関係団体からの生の声】

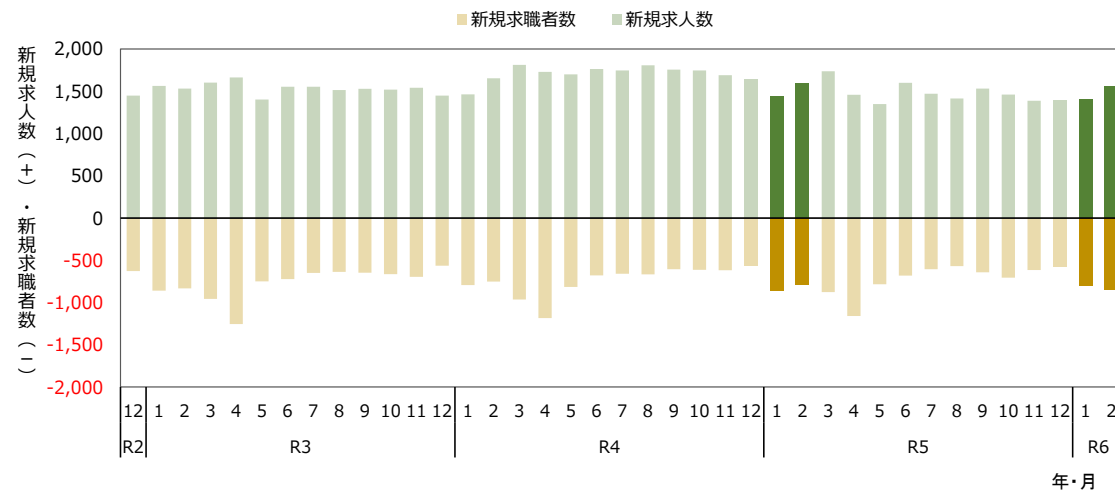
- 正社員は適正な人数を確保できているが、学生アルバイトの確保が課題となっている。昨年同様応募がなければ、経費は増加するが、派遣労働者を雇う予定。（飲食サービス業）
- 特に人手が不足している調理人や設備管理人などの専門知識を要する職種については、専門サイトに求人を出すなどして、特に力を入れて採用活動をしている。（宿泊業）
- 事業閉鎖や事業縮小している企業がR4年度と比較して増加していることにより、事業主都合による新規求職者が増加している。また、求職者の平均年齢が上がっていることによる就職者の減少で、有効求職者数は増加傾向にある。（公共職業安定所）

職種別有効求人倍率の推移（求職者上位5業種）



資料：北見、網走、紋別公共職業安定所

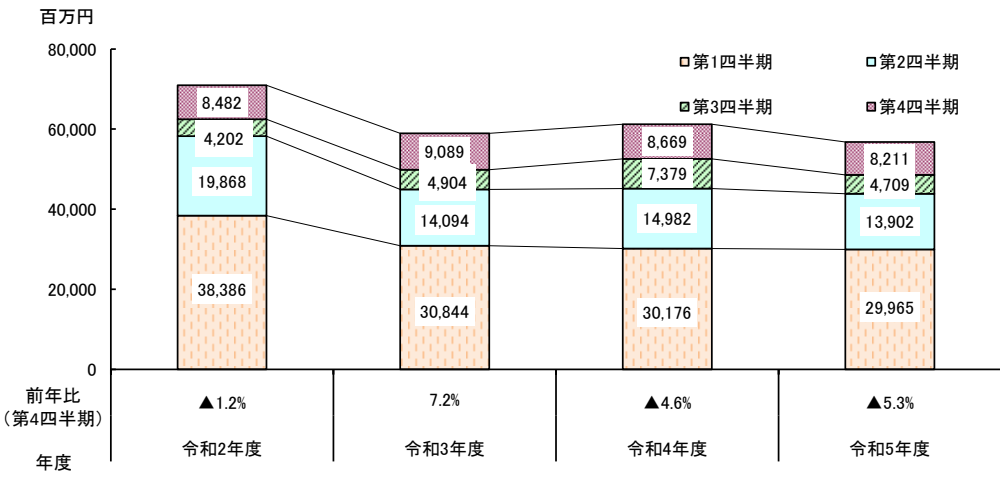
新規求人数・求職者数の推移



資料：北見、網走、紋別公共職業安定所

4. 公共事業 ～前年を下回る～

公共工事前払金保証請負金額の推移



資料:北海道建設業信用保証(株)

○ 公共事業を前払金保証請負金額で見ると、令和6年1月から3月においては、前年を下回っている。
 なお、年度累計においても前年を下回っている。

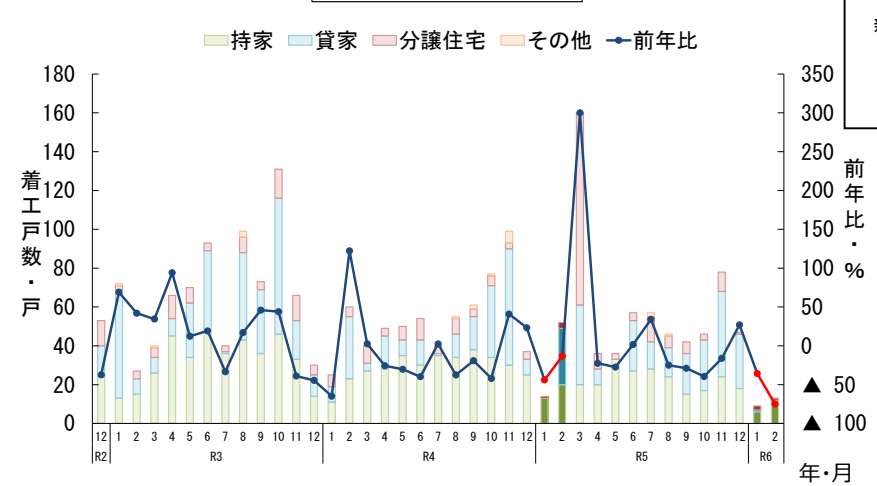
【企業・関係団体からの生の声】

- 通年の工事を多く受注しており、今年度の受注額は昨年より少し上回った。(建設業)
- 官民ともに事業件数・金額ともに減っている。(建設業)
- 令和6年度は、大型案件を受注し、受注額は前年度を上回る見込みであり安定している。(建設業)
- 令和6年度は、前年並みの受注を見込んでいるが、案件数や金額は少し少ない感じ。(建設業)

5. 住宅着工 ～前年を下回る～

○ 管内3市(北見市・網走市・紋別市)の新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を下回っている。

新設住宅着工戸数の推移

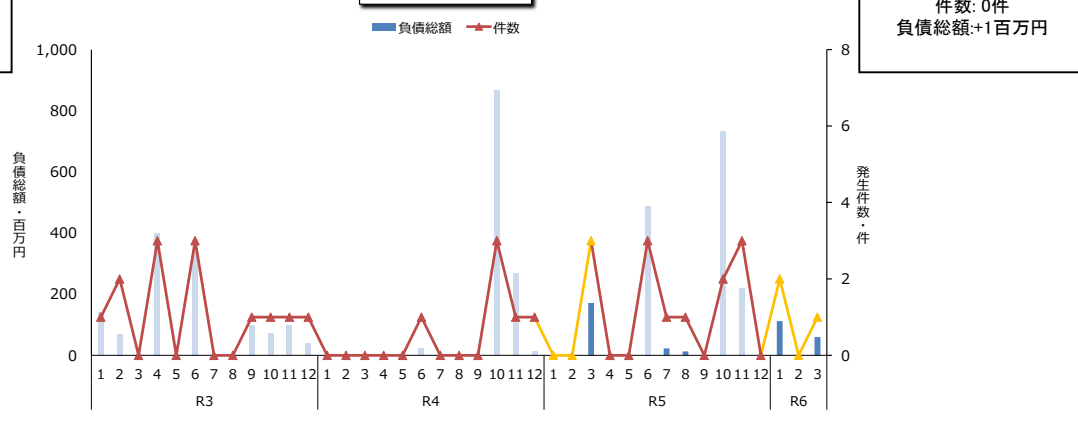


資料:国土交通省「住宅着工統計」

6. 企業倒産 ～件数は前年並み～

○ 企業倒産は、件数は前年並み、負債総額は前年を上回っている。

企業倒産の推移

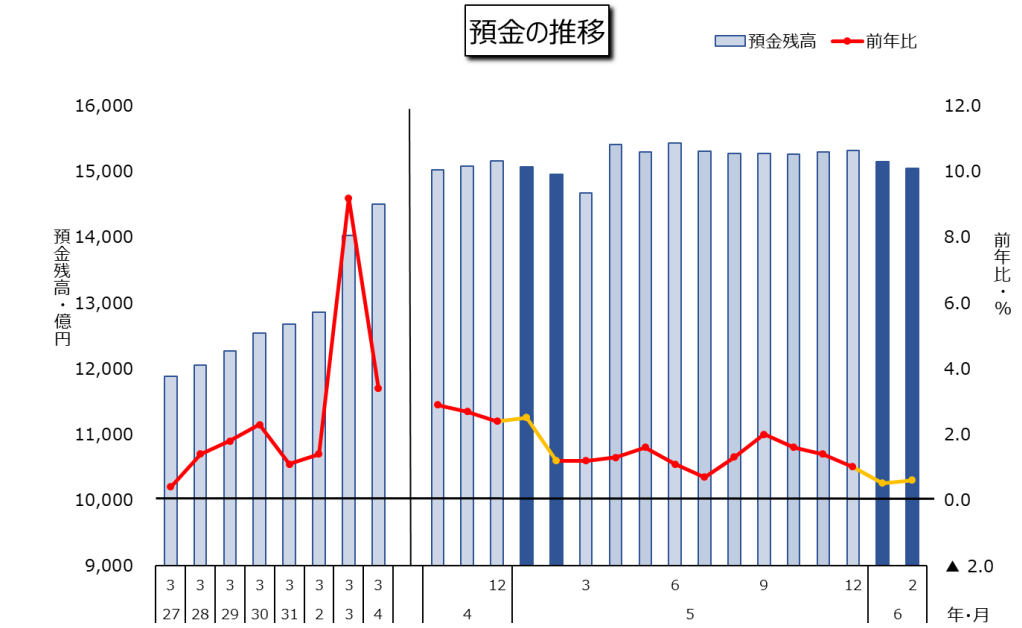
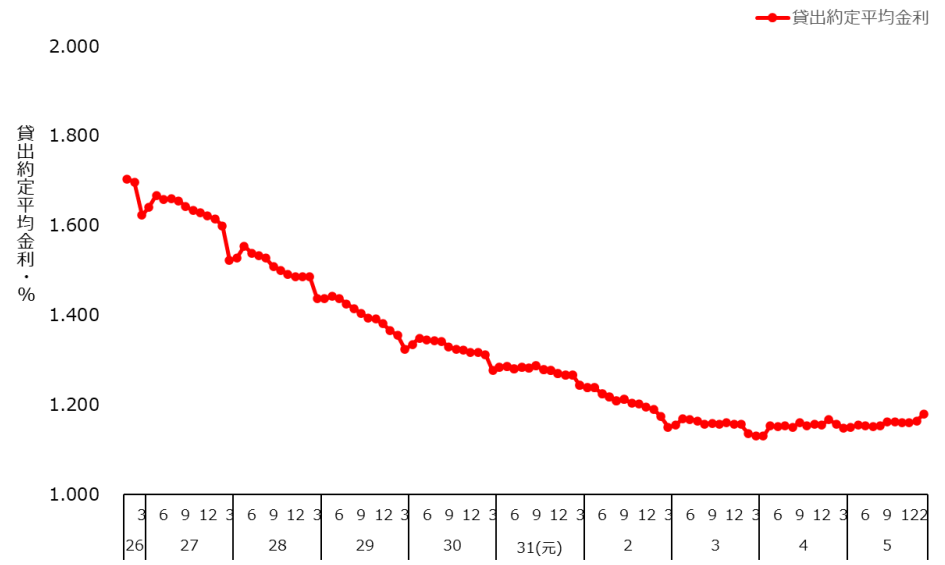
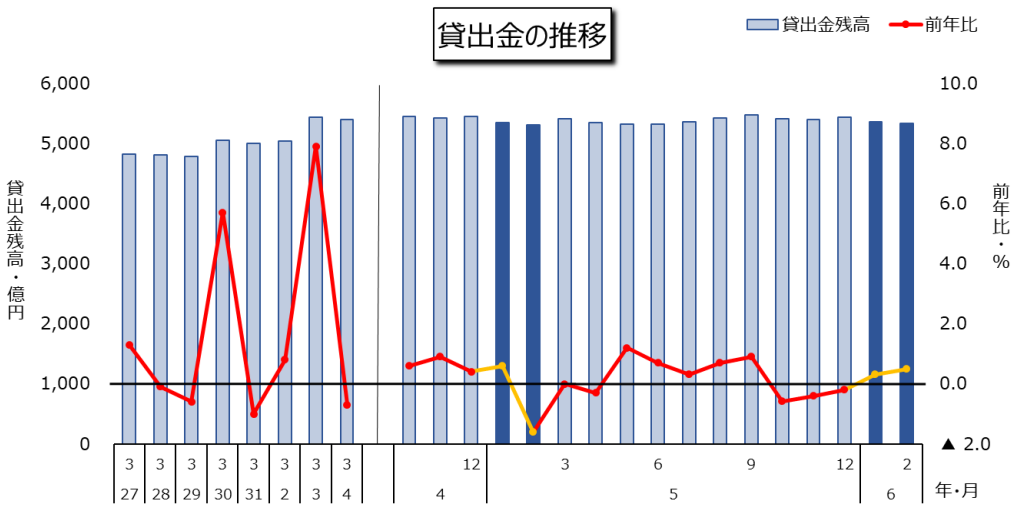


資料:(株)東京商工リサーチ北見支店

7. 金融 ～貸出金、預金ともに前年を上回る～

○ 貸出金残高は、設備資金が増加したことなどから、前年を上回っている。
 ○ 預金残高は、前年を上回っている。

貸出約定平均金利の推移



貸出金・預金の推移 (銀行・信用金庫)

年度・月 (単位: 億円、%、ポイント)

年 月	貸出金残高				預金残高				貸出約定平均金利	
	前年比	設備資金	運転資金	地方公共団体	前年比	前年比	前年比	前年比	前年差	
27. 3	1.3	1,960	1,752	1,105	0.4	1,187	1.263	1.623	▲ 0.089	
28. 3	▲ 0.1	1,991	1,642	1,177	1.4	12,056	1.523	1.523	▲ 0.100	
29. 3	▲ 0.6	2,037	1,572	1,172	1.8	12,269	1.437	1.437	▲ 0.087	
30. 3	5.7	2,083	1,688	1,282	2.3	12,546	1.323	1.323	▲ 0.114	
31. 3	▲ 1.0	2,105	1,626	1,270	1.1	12,678	1.276	1.276	▲ 0.046	
2. 3	0.8	2,166	1,610	1,264	1.4	12,856	1.243	1.243	▲ 0.034	
3. 3	7.9	2,224	1,875	1,340	9.2	14,034	1.150	1.150	▲ 0.093	
4. 3	▲ 0.7	2,264	1,842	1,297	3.4	14,509	1.131	1.131	▲ 0.018	
5. 3	0.0	2,353	1,852	1,198	1.2	14,681	1.148	1.148	0.017	
5. 1	0.6	2,339	1,874	1,134	2.5	15,067	1.166	1.166	0.010	
5. 2	▲ 1.6	2,343	1,823	1,136	1.2	14,956	1.157	1.157	0.022	
5. 3	0.0	2,353	1,852	1,198	1.2	14,681	1.148	1.148	0.017	
6. 1	▲ 0.3	2,361	1,794	1,186	1.3	15,411	1.150	1.150	0.019	
6. 2	1.2	2,356	1,793	1,170	1.6	15,302	1.154	1.154	0.001	
6. 3	0.7	2,358	1,795	1,170	1.1	15,432	1.153	1.153	0.003	
7. 1	0.3	2,351	1,839	1,170	0.7	15,315	1.151	1.151	▲ 0.002	
7. 2	0.7	2,356	1,890	1,180	1.3	15,279	1.152	1.152	0.002	
7. 3	0.9	2,369	1,960	1,141	2.0	15,282	1.162	1.162	0.004	
8. 1	▲ 0.6	2,353	1,938	1,120	1.6	15,263	1.162	1.162	0.009	
8. 2	▲ 0.4	2,359	1,921	1,120	1.4	15,299	1.160	1.160	0.004	
8. 3	▲ 0.2	2,377	1,936	1,120	1.0	15,318	1.159	1.159	0.004	
6. 1	0.3	2,373	1,861	1,129	0.5	15,149	1.164	1.164	▲ 0.002	
6. 2	0.5	2,371	1,824	1,133	0.6	15,049	1.179	1.179	0.022	

【1月-2月(前年同期比)】
 貸出金平均残高: +0.4%
 (うち設備資金: +1.4%)
 (うち運転資金: ▲0.3%)
 (うち地方公共団体: ▲0.4%)
 預金平均残高: +0.6%

※ゆうちょ銀行を除く

資料: 北海道財務局北見出張所

【問い合わせ先】

希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

財務省 北海道財務局 北見出張所 財務課

〒090-0018 北見市青葉町 6 番 8 号 北見地方合同庁舎
TEL 0157 (24) 4167

本報告は、北海道財務局北見出張所ホームページでもご覧いただけます。
ホームページアドレス <https://ifb.mof.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>

北海道財務局北見出張所

検 索





オホーツクワール
cool!